



横浜市立本町小学校 学校運営協議会【記録】

本町小学校学校運営協議会だより

令和6年度 横浜市立本町小学校 第1回学校運営協議会 が開催されました

日 時:令和6年5月11日(土) 10:00~11:40

1 開会挨拶

2 委員自己紹介

3 委員委嘱

校長から各委員に委嘱状



4 役員選任

会長、副会長は昨年度に引き続き前任者に依頼→承諾

5 会長挨拶(杉野会長)

○地域と学校のパイプ役として担っていければよいと思っている。

6 今年度の学校運営について(校長)

○学校経営方針の概要。

- ・来年の4月で本町小学校が120歳になる。地域、児童とともに120周年を良いものにしていきたい。
- ・昨年度に引き続き、「ICTの活用、学校行事の精選、教職員の働き方改善」という学校運営の大きな変化に対応しながらも、教職員一同、「チーム本町」として、誠意と情熱をもって「誰もが安心して集える学校、豊かな学びができる学校、自ら学ぶ学校」を目指す。
- ・今年度も、多様な子どもたちに柔軟に対応するため、「生活科」、「総合的な学習の時間」を柱に魅力ある授業づくりを研究推進していく。この学習では、地域の皆様の力を借りていくことが多いので、引き続き協力をお願いしたい。子どもたちを「まち」と共に育てていくという視点をより充実させていきたい。
- ・124名の児童の入学を迎え、中区で最も児童数の多い小学校となった。合わせて個別支援級の人数も増え、1学級が増となった。限りある教職員の中で、入学時期の学校生活が安心できるように、学校独自で低学年のサポートの教員を配置した。また、他の学年についても学級担任だけでなく、学年や国際教室、級外の教員とも連携してチームとして学習・生活支援ができるように取り組んでいる。



- ・今年度も「いじめの未然防止」を最重要取り組みとして位置付けて学校を運営していく。昨年に引き続き、児童の様子を引き継ぐことに時間をとるために、4月の授業時間は5校時までとして子どもの状況を把握・共有する時間を確保した。5月には記名式のアンケートを実施。

7 委員の皆様より(委員名略)

- ・今、「いじめ」の問題が横浜では非常に強く取り上げられている。過去の事案や課題を例にしながら、教職員で研修を重ね、どう支援したらよいのか等、考えていく必要がある。「いじめをおこさない」ことはもちろんだが、児童一人一人に丁寧に寄り添って支援してあげることが大事。
- ・本町の特徴であることを上手く生かし、外国籍、外国につながる児童への支援を丁寧に行い、そのことで逆に先生たちの感性を磨いていくと良い。
- ・なぜ本町小では、「生活・総合」を柱としているか。その意味を教職員がしっかりと考えることが大切。本町小の地域には、「材」である【人、もの、こと】がたくさんある。たくさんのお会いを大事に、子どもたちが主体的に関わりやすい「生活・総合」という学習の特性を生かしながら取り組んで欲しい。
- ・120周年事業についても、「まちとともに歩む学校づくり」を意識し、子どもたちが参加して、まちの良さをつかみながら、取り組んで欲しい。
- ・とても「材」が豊かな地域。しかし、中学校では「材」をうまく使うのが難しい。色々と模索している。
- ・中学校は、義務教育の終わりとしての出口を考えていかなければならない。横浜吉田中にも外国籍や外国につながる生徒が多く、日本語がしゃべれない生徒が多数入ってきている。県立高校入学のときには、日本での滞在期間によって受験内容も変化するところがある。進学先で困っている児童も多くいる。小学校もこれからどんどん増えていくのではないかと思う。
- ・ここまで外国籍の生徒が増えると、どのように対応していこうか苦慮している。従来の教職員だけでは対応できない部分については、ぜひ皆様に知恵をお借りしていきたい。
- ・今年度は他の行事と重なってしまったために、小学校の運動会と中学の体育祭が同日になってしまった。大変申し訳ないが、来年度はまた調整していきたい。
- ・中学の体育祭はとても迫力がある。小学校と重なることで、どのように見に行くか考えている。
- ・職場で外国籍の方ともかかわっているが、外国籍の方は、皆さんとても勉強熱心。自分も中国語をならっているが、皆さん、日本人よりも日本のことをよく勉強している。今後も外国から来る方は増えると思う。
- ・質問が一つ。今、本町小に不登校の児童がどれくらいいるのか。

→学校に一日も来られていない児童はいないが、数名の児童が登校をできずにいる。保健室で過ごす児童もいる。横浜市の中学校では、「校内ハートフル」といった。登校に配慮や支援が必要な生徒が過ごせる場を整える動きがある。小学校でも、学校に来られない児童、教室に入れない児童のサポートをするために、環境や人的配置を教育委員会に要望している。ぜひ、学校運営協議会の皆様の力も借りたい。なかには、友達同士の「心無い言葉、相手の気持ちを考えない言葉」で、不登校となり、心が傷ついてしまう児童もいる。子ども同士で、互いの気持ちや環境を理解し合えるように支援を進めていきたい。



- ・一般級と個別支援級の間にいる児童の困り感を、受け止めながら支援するのが「特別支援教室」という取り組み。文科省からも、学校現場では、「個別最適な学びを」という提案がでていいる。しかし、実践をしていくには、環境や人の配置が必要。今年度の意見書の内容に加えてみたらどうか。
 - 9月、10月の学校運営協議会では、学習の様子を委員の皆様に見ていただく機会がある。気づいたことを、是非声にだしていただき、学校教育に力を貸してほしい。
- ・4月に学校に来たばかりだが、本町小の特色を感じている。校庭や体育館だけでなく、図工室や音楽室等も学校が使用させてくれるので助かる。また、子どもたちへの対応にも先生方が協力していただけるので、キッズクラブも助かっている。
- ・要望としては、一点。これからの暑い夏の時期に向けて、体育館に空調を入れて欲しい。
- ・120周年事業の実施に向けて取り組んでいる。委員も決まったので、今はお世話になる関係者の方のところに挨拶をさせていただいている。子どもたちのためにも良いものをつくっていききたい。そのために是非とも学校運営協議会の委員の方々にもお力を貸していただきたい。
- ・児童の防災意識のことでお願い。このまちは、海が近いので大地震の際に液状化が懸念されている地域。学校にいるとき、家にいるとき、登下校時など、災害はいつ来るか分からない。それぞれの状況に合わせて対応方法を指導してほしい。また、児童が考えて行動することも大切。外では、ビルの上から落下物が落ちてくることなどもある。頭を守ることは、とても大切。そのためにも地域と学校が、通学路の危険箇所などをもう一度点検し、子どもたちの命を守ることを意識しなければならない。大規模災害になると警察や自衛隊、救急隊などは、すぐに到着しない。子どもたちには、自分を守るすべを伝えてほしい。
- ・ハザードマップを確認すると、本町小も、みなとみらいエリア側ほどではないが大規模地震等の際には、少なからず液状化等の影響があると考えられる。避難場所としての機能もあるが、そこは地域の方の協力をいただき、教職員としては児童の命を守ることを最優先にして考えていきたい。
- ・地域としては、学校へ子どもを預けて安心という考え方である。何かあった際には、どのような対処をするのかは、以前より校長と確認をしている。
- ・災害が起きたとき、ここは避難の拠点。各町内会の役員を中心に9月のはじめに防災訓練を予定。お祭り騒ぎではなく、より本番を想定した訓練が必要だと思う。ただ暑い時期ではなくもっと涼しい季節に本格的な訓練をしたほうがよいのではと思う。
- ・ハザードマップは秋頃に配布予定。このまちでは、JRA や野毛地区センター、にぎわい座などが堅い建物。駅前のホテルなどとも、普段から話をして、万が一の時の受け入れ先として使えるかも調整している。
- ・先日は、仮設トイレの設置訓練をしたが、「下水が震災で壊れたら」などは、行政も考えていない。あらゆる場面を想定した準備が大切。
- ・いじめの問題を大切にしてほしい。この地域は、数年前から10人に3人は外国籍などと言われている。言葉の違い、文化の違いもある。そういったことを考えて支援してあげて欲しい。校長先生や先生方はとても大変。地域も手伝うので、なにかあったら相談して欲しい。
- ・伊勢佐木の防犯指導員が時々動いている。役に立っているのか。
 - とても助かっている。

- ・先日の強盗未遂事件の際には、加賀町警察と伊勢佐木警察の管轄の違いで、対応に苦慮した。本町小は、学区が広く複数の警察署がある。連携等の観点で学校運営協議会の皆様にも力を借りたい。

8 今後の予定について(柳下教務主任)

- ・第2回:9月13日(金)、校内授業研究会見学から協議会。
- ・第3回:10月31日(木)、全職員が参加しての協議会。
- ・第4回:2月28日(金)、学校評価等について協議会。
- ・120周年の横断幕を4月下旬に門の前に掲示。4月11日の創立記念式には、120周年 year を6年生が宣言した。
- ・5月25日に実施する運動会にも、120周年の冠をつける。30日には、航空写真も撮影予定。
- ・10月から11にかけては、各学年で遠足、宿泊体験学習を実施予定。
- ・11月30日に本町フェスティバルを予定。
- ・12月14日に公開授業研究会を予定。
- ・2月21日には120周年記念式典。夜には祝賀会も行う予定。
- ・3月19日に卒業式を予定。3月25日に修了式。
- ・令和7年度は、4月7日に入学式を予定。



☆学校からのお願い。

- ・地域学校協働本部(ガス灯倶楽部)が発足。現在15名が登録して下さったが、全員保護者。是非、地域の方にも登録していただき、学校教育活動への支援をお願いしたい。来週は、3年生の学習にガス灯倶楽部の方が引率して下さる予定。活動を広げていきたい。

11 閉会挨拶